

アース・イオン

2016
錦秋号

No.270

中部近畿産業保安監督部北陸産業保安監督署

平成27年度管内の電気事故について

北陸発 いきいき情報

【北陸の地域を訪ねて】石川県鹿島郡中能登町

ふるさと ふれあい 心を育む
若者にもお年寄りにも住みよい町を目指して

お客さま訪問

【Tree Picnic Adventure IKEDA】福井県

2016年春、池田町にオープンした
日本最大級の冒険の森。

保安技師の体験

金沢営業所 蔵川 和彦

バッテリーから悲鳴が…?



一般財団法人

北陸電気保安協会

北陸電気保安協会

検索

表紙のページ

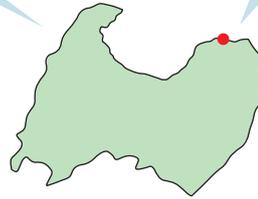
宮崎・境海岸

富山県（朝日町）



富山県と新潟県の県境、朝日町にある宮崎・境海岸（みやざき・さかいかがん）は東西約4kmに連なる砂利の美しい海岸です。波はおだやかで、水の透明度は高く「日本の渚・百選」に選定されており、夏には海水浴客で賑わいます。

また、ヒスイの原石が打ち上げられることから別名「ヒスイ海岸」とも呼ばれ、一年を通して浜辺にはヒスイ探しを楽しむ人々の姿が見受けられます。



もくじ

平成27年度 管内の電気事故について	1
北陸発 いきいき情報	4
北陸の地域を訪ねて 石川県鹿島郡中能登町	
PCB(ポリ塩化ビフェニル)	
関連ニュース	6
省エネ・省コスト	8
デマンド監視サービス導入事例のご紹介	
お客さま訪問〈No.270〉	10
Tree Picnic Adventure IKEDA	
平成28年度 電気保安功労者表彰	12
保安技師の体験	13

平成27年度 管内の電気事故について

中部近畿産業保安監督部北陸産業保安監督署

平成27年度に中部近畿産業保安監督部北陸産業保安監督署管内（富山県、石川県、福井県及び岐阜県の一部）で発生し、電気関係報告規則に基づき報告された電気事故について取りまとめたので、その概要を紹介します。

1 全体概要

平成27年度に当署管内で発生した電気事故は22件で、前年度に比べ4件の減少となりました。（絶縁油漏洩事故を除く）減少となった要因は自家用電気工作物からの波及事故が15件から10件と減少したことがあげられます。

電気事業用電気工作物（以下「事業用」という）と自家用電気工作物（以下「自家用」という）の別では、事業用が7件、自家用が15件であり、うち発電所での発生が8件でした。（第1表参照）

第1表 平成27年度電気事故総括表（単位：件）

	事業用			自家用			平成27年度計			平成26年度計		
	作業員	公衆	計	作業員	公衆	計	作業員	公衆	計	作業員	公衆	計
感電死傷事故 (発電所で発生した事故：外数)	1		1	2		2	3		3	1	1	2
感電以外の死傷事故 (発電所で発生した事故：外数)												
電気火災事故												2
公共の財産に被害を与えた事故 又は社会的影響を及ぼした事故												
主要電気工作物の破損事故 (発電所で発生した事故：外数)			1						1			
供給支障事故												
波及事故						10			10			15
異常に放流された事故 法第106条に基づく報告徴収												
絶縁油漏洩に係る事故												1
計	1		7	2		15	3		22	1	1	27
絶縁油漏洩に係る事故を除く 計	1		7	2		15	3		22	1	1	26

2 感電死傷事故

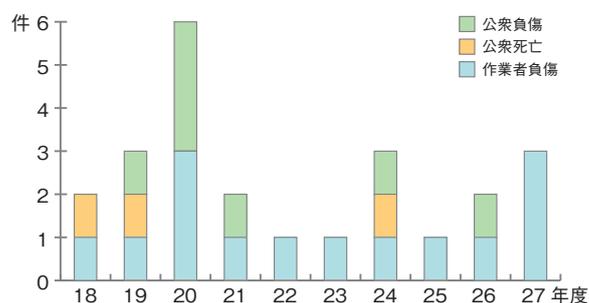
平成27年度において感電死傷事故は3件（前年度2件）発生しました。発生場所は事業用及び自家用で発生し被災者の内訳は、電気作業員でない「公衆」の事故は0件、電気に関する「作業員」の事故が3件です。

平成18年度以降過去10年間の感電死傷事故発生の推移は第1図のとおり24件発生しており、作業員が被災者となったものは14件、公衆が被災者となったものは10件となっています。

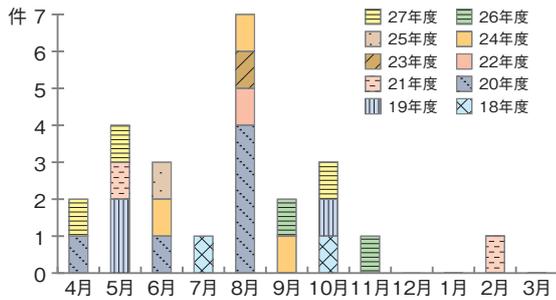
また、感電死傷事故の発生月は第2図のとおり8

月に最も多く発生しております。

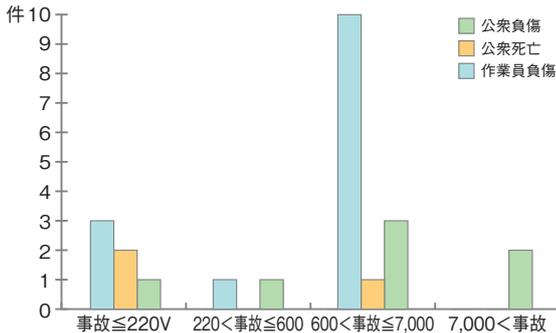
第1図 感電事故の被害者、被害程度別



第2図 感電死傷事故の発生月



第3図 感電死傷事故に係る事故電圧



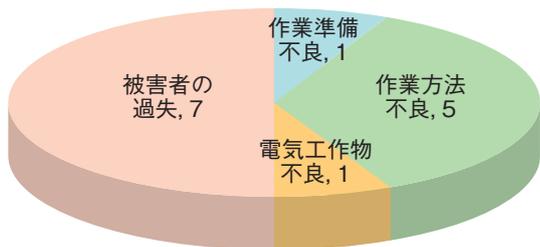
平成18年度以降で感電死傷事故に係る事故電圧は第3図のとおり「600Vを超え7,000V以下」での発生が14件と最も多いものの「220V以下」の低圧でも6件発生しています。

特に、死亡事故3件のうち2件が「220V以下」の低圧で発生しています。

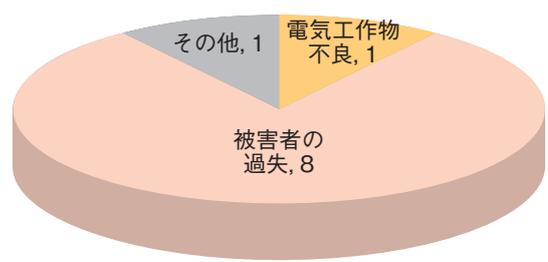
事故原因は「作業員」では第4図のとおり「被害者の過失」及び「作業方法不良」が最も多く、次いで「作業準備不良」、「電気工作物不良」の順となっています。

また「公衆」では第5図のとおり作業員と同様「被害者の過失」が最も多くなっており、キュービクルの塗装作業のため被害者が扉を開けて作業中に充電部に触れて感電負傷した事例も見受けられます。

第4図 作業員の感電死傷事故原因 (単位: 件)



第5図 公衆の感電死傷事故原因 (単位: 件)



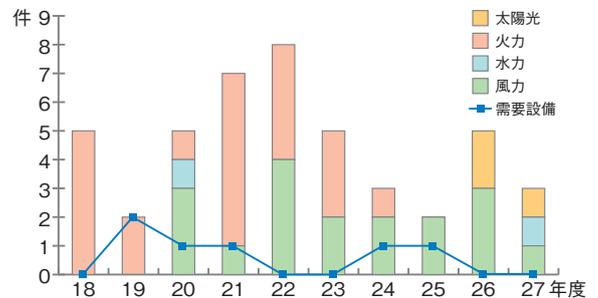
3 電気火災事故

平成27年度において電気火災事故は、自家用において0件（前年度2件）でした。

4 主要電気工作物の破損事故

平成27年度において主要電気工作物の破損事故は9件（前年度7件）発生しました。発生場所の内訳では事業用で6件（うち発電所5件）、自家用の発電所で3件となっております。（第6図参照）

第6図 自家用における主要電気工作物破損事故

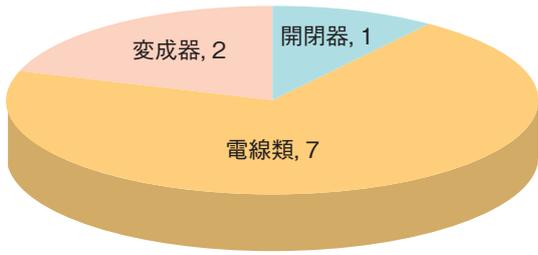


5 波及事故（他の電気事業者又は一般電気事業者等に供給支障を発生させた事故）

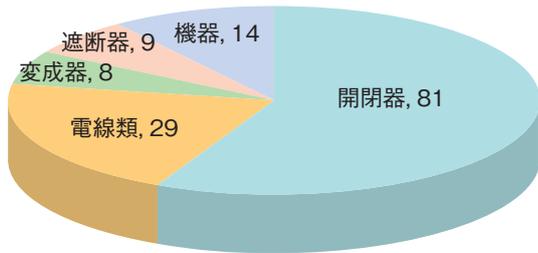
平成27年度において波及事故は自家用で10件（前年度15件）発生しました。自家用で発生する電気事故のうち波及事故の占める割合は大きく、平成27年度では15件中10件と66.7%が波及事故となっています。

また、波及事故の原因となる電気工作物は電線類が7件と波及事故のうち70.0%を占めました。（第7-1図参照）平成18年度以降の集計では、開閉器が57.4%と多くを占めています。（第7-2図参照）

第7-1図 事故発生工作物(27年度) (単位: 件)



第7-2図 事故発生工作物(18~27年度集計) (単位: 件)



事故原因は、「雷」に起因する事故が平成27年度では3件と波及事故のうち30.0%となり、平成18年度以降の集計では86件と波及事故のうち61.0%と毎年多数を占めています。(第8図参照)

第8図 波及事故原因(18~27年度集計)

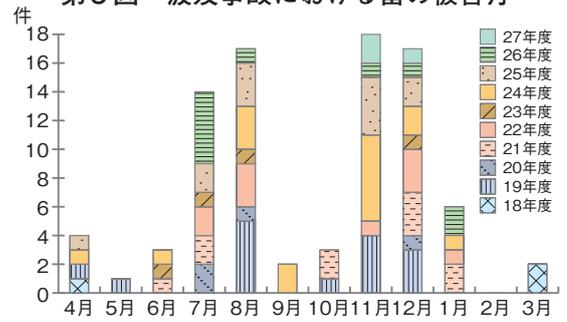


「雷」の被害月は8月、11月、12月に多く発生し(第9図参照)、特に冬期に多発するのは北陸地方特有の現象と思われます。

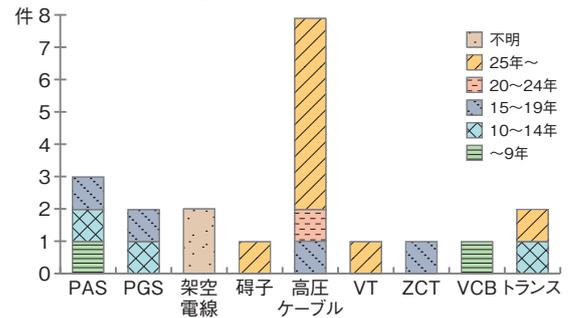
「雷」被害対策として避雷器の設置が有効ですが、雷被害を受けた500kW未満需要家で避雷器を設置してながら被害を受ける需要家もあり、当該需要家では避雷器を放電電流の大きいもの(2.5kAから5.0kA)への取替又は接地抵抗値の低減を実施し再発防止を図っています。

事故原因が、「自然劣化」、「保守不完全」で事故に至る電気工作物は、高圧ケーブルが多く使用年数が不明を除くと15年以上の使用で事故に至る傾向があることから、日頃の点検に加え計画的な設備更新も重要になります。(第10図参照)

第9図 波及事故における雷の被害月



第10図 事故原因が「自然劣化」「保守不完全」であった電気工作物の使用年数



6 終わりに

今回のとりまとめを参考にして、事故の発生要因を十分考慮し、電気事故発生防止に向け、すべての事業場において電気主任技術者を中心にその実態に応じた電気事故の未然防止と電気工作物の安全性・信頼性向上を進めていくことが強く望まれます。

また、設置者におかれては電気主任技術者の意見を尊重し改修の必要性を指摘された場合は事故防止の観点から改修のための措置を講じていただくようお願いします。

今後とも電気主任技術者と設置者との連携により電気事故を発生させないように、より一層の安全確保をお願いします。



北陸発・))) いきいき情報



北陸の地域を訪ねて
(石川県鹿島郡中能登町)



中能登町長 杉本栄蔵

ふるさと ふれあい 心を育む 若者にもお年寄りにも 住みよい町を目指して

昨年は、北陸新幹線や、能越自動車道などの交通の利便性向上により、全国から中能登町への行政視察も例年以上に多く、その一つひとつを、おもてなしの心で歓迎いたしました。また、10月には、第2回となる中能登トレジャートレイルランがコースを拡充し開催されました。約300名のランナーがゴールとなった道の駅「織姫の里なかの」と目指し、風光明媚な里山のコースを走り抜け、石動山の史跡や碁石ヶ峰の豊かな自然を楽しんでいただけたものと思います。

今後とも様々なイベントを通じ、全国からたくさんの方々を訪れていただけるよう、中能登町の魅力をこれまで以上に発信し、交流人口の拡大に努めて参ります。

現在、国を挙げて地方創生、人口減少対策に取り組まれている中、日本創成会議の試算によると、中能登町は能登半島で唯一、消滅可能性都市から外されています。これは中能登町が、これまで進めてきました分譲宅地造成事業、定住促進奨励金制度、子育て支援などの各種施策の成果の現れであると考えております。この成果を継続し発展すべく、産業の振興、住環境及び教育環境の充実を図り、子供からお年寄りまでが活き活きと安心して暮らせるまちづくりを推進し、定住人口の増加に努めて参ります。

■ 充実した子育て支援制度

能登半島のほぼ中央という恵まれた位置にある中能登町は、高速交通体系の整備もあり、輪島市や金沢市、富山市などからのアクセスが良いことで知られています。

平成17年に鳥屋町・鹿島町・鹿西町が合併して誕生した同町は、お年寄りや子育て世帯が元気に暮らせるまちづくりを目指し、さまざまな取り組みを行っています。

特に、「出産祝金」「保育料軽減」「小学校入学祝金」「学校給食費助成金」「高校生までの医療費助成」など、子育て支援制度に力を入れており、その効果もあって若年層の移住が増加しています。

そのほか、定住に関する支援制度や、起業・就農に関する支援制度、高齢者の自立した生活を支援するためのサポート体制なども充実しています。

■ 織物と農業のまち

同町は、古くから「織物のまち」として知られ、県内でも最大の繊維産地が築かれてきました。今から約2千年前に、崇神天皇の皇女が機織りを伝えたと言わ

れる「能登上布」は、石川県指定無形文化財に指定されており、麻が醸し出す自然な色や、^{かすり}緋模様の風合いが特長です。「能登上布会館」では、能登上布の制作工程見学と機織体験を行うことができるほか、能登上布製品の販売も行っています。



■ いにしへのロマンをたどる史跡群

同町には、古代や中世の暮らしを現代に伝える貴重な史跡群が数多く残されています。

「石動山^{せきどうさん}」は、加賀、能登、越中など北国七ヶ国の山岳信仰の拠点霊場として栄え、最盛期中世には、360余りの院坊、3000人の衆徒を誇っていたと伝えられています。戦国時代に前田利家らの軍によって全山焼失した後、加賀藩によって再興されますが、往時の繁栄は取り戻せず、やがて明治時代の神仏分離政策により廃絶していきました。現在は、平成14年に復元された「大宮坊」、江戸時代から現存する「旧観坊」、平安時代以来の由来を誇る「伊須流岐比古神社」などの姿から、往時をしのおことができます。

眉丈山の尾根筋に残る「雨の宮古墳群」は、4世紀中頃から5世紀初めにかけて造られたもので、主な古墳は築造当時の姿に復元されています。そのほかにも、崇神天皇の皇子の墳墓と考えられている北陸最大級の円墳「親王塚古墳」や、前方後方墳の「亀塚古墳」などが残されており、訪れる人をいにしへのロマンへといざなってくれます。



■ 映画「ママ、ごはんまだ？」

中能登町町制10周年記念事業として企画されたのが、一青妙さんのエッセイを原作とした映画「ママ、ごはんまだ？」。家族の絆をテーマとした心温まるヒューマンドラマです。東京、金沢、台湾のほか、同町でもロケが行われ、中能登町がスクリーンに登場します。原作者の妹である一青窈さんが歌う主題歌も話題となっており、来春の公開が待たれています。



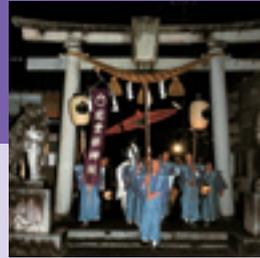
イベント情報

◆ばっこ祭り

11月17日(木)～21日(月)

◆中能登トレジャートレイルラン

11月6日(日)



■ 山と河川が織りなす自然環境

東に石動山、西に眉丈山系を仰ぎ見る同町は、山と河川が織りなす自然と身近に触れ合うことができる恵まれた環境にあります。

石動山に残る約15ヘクタールのブナ林は、能登では最大規模。秋には美しい紅葉が、大宮坊に至る遊歩道周辺を彩ります。

標高461メートルの碁石ヶ峰に広がる「碁石ヶ峰県立自然公園」山頂からは、能登の風景はもちろん、立



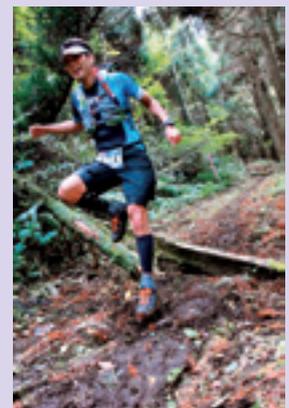
山連峰や白山まで見渡すことができます。山麓にある「原山大池」では、キャンプやボート、釣りなども楽しめる人気のスポットです。

■ 中能登トレジャートレイルラン

舗装されていない山道などを走る競技トレイルランが、平成26年11月、県内で初めて同町で開催されました。

「世界農業遺産」に指定された能登の風光明媚な景色も魅力となり、第1回、第2回と多くのランナーが参加しました。今年は11月6日に開催されます。能登では唯一のブナの原生林や遺跡群、360度大パノラマの碁石ヶ峰など、里山の景色の中を、県内外からの参加者が沿道からの温かい声援を受けながら駆け抜けます。

豊かな里山の自然と、ロマンあふれる歴史を持つ中能登町は、恵まれた交通環境と様々なまちづくりの施策によって、「子供からお年寄りまでが生き活きと安心して暮らせるまちづくり」をめざしています。



PCB (ポリ塩化ビフェニル) 関連ニュース

この度、PCB (ポリ塩化ビフェニル) に関する関係法令が改正 (予定含む) となりました。

「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法施行令の一部を改正する政令」等の公布について

[平成28年7月29日公布 平成28年8月1日施行] (抜粋)

1. 背景・趣旨

ポリ塩化ビフェニル、いわゆるPCBは、昭和43年に発生したカネミ油症事件でその毒性が社会問題化したことから、我が国では昭和47年以降製造は行われていませんが、既に製造されたPCBについては、その廃棄物の処理が長年の課題となっています。

現在、高濃度PCB廃棄物の処理は、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(平成13年法律第65号)に基づき、中間貯蔵・環境安全事業株式会社の全国5か所の処理施設において、立地地域の関係者の御理解と御協力の下、進められています。立地地域の関係者と約束した処理施設ごとの計画的処理完了期限は、早いものでは平成30年度末、遅いものでも平成35年度末とされています。このように、この期限までに残された時間は長くありませんが、高濃度PCB廃棄物の処分を処理施設にまだ委託していない事業者や、現在もなお高濃度PCB使用製品を使用している事業者も存在し、期限内処理の達成は、このままでは容易ではありません。

こうした状況を踏まえ、この期限を遵守して一日でも早く確実に処理を完了するために必要となる制度的措置を講じることを目的としたポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律(平成28年法律第34号。以下「改正法」という。)が平成28年5月2日に公布されたところです。

同法の施行に伴い、ポリ塩化ビフェニル廃棄

物の適正な処理の推進に関する特別措置法施行令(平成13年政令第215号)及びポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法施行規則(平成13年環境省令第23号)等を改正等するものです。

2. 主な改正の内容

改正法の施行に伴い、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法施行令の一部を改正する政令(平成28年政令第268号)において、高濃度PCB廃棄物及び高濃度PCB使用製品の基準を定めるとともに、高濃度PCB廃棄物の処分期間を規定しました。

また、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴う環境省関係省令の整理に関する省令(平成28年環境省省令第19号)において、PCB廃棄物及び高濃度PCB使用製品の毎年度の届出に関する事項や高濃度PCB廃棄物の保管の場所の制限の特例等を規定いたしました。

その他、上記関係法令の施行に伴い、関係告示の規定等を行いました。

3. 施行期日

平成28年8月1日から施行(5. の政令・省令・告示)

(以下省略)

[環境省] <http://www.env.go.jp/press/102817.html>

上記内容の解説

1. 高濃度PCBの処分(廃止)期限は平成34年3月31日になります。

なお、処理期限は、従来同様、平成35年3月31日です。

低濃度PCBの処分期限は平成39年3月31日です。(従来どおり)

● 高濃度PCB含有電気工作物に関する各地の処分（廃止）期限

期 限	電気工作物の設置又は保管の場所が所在する区域
平成34年3月31日	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、 富山県、石川県、福井県 、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県及び三重県
平成33年3月31日	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県及び和歌山県
平成30年3月31日	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県

2. 設置者に対して、高濃度PCB含有電気工作物の廃止に向けての定期報告の義務化

- 高濃度PCB機器を有する場合は、**使用を中止している場合は環境省に、使用中の場合は経済産業省**に対し、**いずれも、毎年6月30日までに管理状況を提出**する必要があります。また、高濃度PCB含有電気工作物は、**届出書に廃止予定日（平成34年3月31日まで）を記載することが必要**となります。（高濃度PCB含有電気工作物の廃止が見込まれる日が超える場合は、1年を超えない期間に廃止することが明らかであることを証明できる書類を添付することが必要です。）

関連法令：【電気関係報告規則 使用中機器の扱い（平成28年9月改正予定） 経済産業省】

3. 各種問合せ先

- 都道府県（**使用を中止しているPCB機器を所有する場合**）

富山県 生活環境文化部環境政策課 076-444-3141

石川県 環境部廃棄物対策課 076-225-1472

福井県 安全環境部循環社会推進課 0776-20-0382

- 経済産業省（**使用しているPCB機器を所有する場合**）

経済産業省 中部近畿産業保安監督部 北陸産業保安監督署

076-432-5580

- PCB廃棄物の処理業者について

- ・ 高濃度PCBの処理（富山、石川、福井地区）

中間貯蔵・環境安全事業(株) (JESCO) 北海道PCB処理事業所

03-5765-1197

- ・ 低濃度PCBの処理

各地の無害化処理認定業者（詳しくは、環境省HP（無害化処理施設は全国に35箇所、8/18現在）をご参照ください。）

<http://www.env.go.jp/recycle/poly/facilities.html>



高圧進相コンデンサ



変圧器

4. 低濃度PCB機器の含有検査について

高濃度PCB機器については、銘板に記載しているメーカー、型式、製造年月等で判別できますが、低濃度PCB機器については、銘板に記載している情報からは判別できません。そのため、PCBの分析検査（有料）をおすすめします。当協会にお気軽にご用命ください。

デマンド監視サービス 導入事例のご紹介

高岡営業所

全館あげて「電気の見える化」を図り、
省エネ活動の取組みを強化しました。

(株) 富山県農協共済福祉事業団
雨晴温泉 磯はなびさま

住 所：富山県高岡市太田88-1
業 種：温泉旅館

- 主な電気設備

電灯用変圧器	700kVA
動力用変圧器	1,100kVA



施設の全景

雨晴温泉 磯はなびさまは、

平成14年6月の開業以来たくさんのお客さまに、雨晴の特徴である立山連峰から能登半島までを望む大パノラマを楽しんでいただく温泉旅館として、絶大な人気を誇っているお宿です。また富山の海の幸、山の幸をふんだんに使った料理も人気で、何度も利用したくなるようなおもてなしの心に満ちたサービスを皆さまに提供しております。

また磯はなびさまは省エネについても大変造詣が深く、社長以下、全社を挙げて高効率機器の採用など省エネ活動を展開しております。

そんな中当協会から、電気料金の削減策としてデマンド監視装置の提案と空調自動制御を提案したところ、積極的に採用していただき効果を出しております。具体的にどのような取組みをしておられるのか、堀田支配人にお話を伺いました。



新装の『楽瑠別邸 BLANCHE』でおもてなし

デマンド監視装置導入のきっかけは？



堀田支配人

温泉旅館は浴場や宴会場等エネルギーを多く使用する設備があり、近年の燃料高騰もあって、経費を節減することが絶えず命題となっています。特に電気は、夏季ピークや旅館特有の宴会が集中する夕方から夜にかけてのピークが発生するため、デマンドが契約電力を超えないようにするためにも、その期間のピーク対策が必要となりました。その他にも照明や厨房等で使用する電気に対してもLEDの採用や換気扇の運用改善などの効果を確認するため、電気の使い方方を把握する必要性がありました。

宿泊や日帰りのお客さまへの満足度向上を図りながら省エネ対策を実施

平成23年よりデマンド監視装置を導入し、合わせて照明のLED化、エアコンの自動制御化等を行って使用電力の削減に成功しました。また電気式給湯機の活用等により燃料の削減にも取り組んでいます。

1 照明設備のLED化

旅館はロビーや廊下等多くの照明器具が営業時間中は点灯しています。そのような場所は積極的にLEDランプを採用して電気使用量の低減を図っています。

2 電気式ヒートポンプ給湯機の導入

エネルギーの使用先としてお風呂に使う給湯や循環加温があります。これはすべて重油炊きの温水ボイラで実施していましたが、ヒートポンプによる循環加温やエコキュートによる給湯加温など積極的に高効率機器を導入して、電気の有効利用につとめることで重油の削減に大きな効果がでています。これにより電気の使用量が増えるわけですが、ピーク電力が大きくなるように、デマンド監視装置が有効に活用できています。



大浴場や日本海を眺望できる露天風呂



大宴会場での食事やお酒が大好評

3 デマンド監視装置による空調自動制御の導入

お客さまが一番楽しみにしている宴会の時間帯が、最も電気を使うこととなります。特に大宴会場の空調は電気エアコンでおこなっているので、ピークを抑制するのにデマンド監視装置による空調自動制御を使って効果を上げています。しかしながら、お客さまに快適に料理を召し上がっていただくためにも空調抑制にも限界があるので、他のエリアのこまめな節電が必要になります。現在は、節電操作の方法を従業員全体で考え出し、効果を確認していくPDCAに取り組んでいるところです。



デマンド表示器と自動制御している空調の室外機



結果と今後は？

当館でのデマンド監視サービス導入後の効果は以下の通りです。

平成24年

年間最大デマンド

515kW

年間使用電力量

2,182MWh



平成26年

年間最大デマンド

499kW

年間使用電力量

2,114MWh

エコキュートやヒートポンプによる熱源転換を行っているものの、着実に使用電力量を減らすことができたのは従業員によるデマンド監視の努力と考えています。

今後は、お客さまへの快適性の維持と省エネを両立できる対策として、客室への外気導入量低減、空調機の季節による設定温度変更、トイレ照明の人感センサー設置等でエネルギーロスの削減を検討して行きたいと考えています。

当協会ではデマンド監視装置からの信号を受けて
自動で電気機器の使用を抑制するサービスを行っています。
お問合せは最寄りの当協会支店・営業所まで

2016年4月、福井県池田町にアスレチックスポット「Tree Picnic Adventure IKEDA（ツリーピクニックアドベンチャー いけだ）がオープンしました。のどかな山林に囲まれたロケーションの中、自然を満喫できるアクティビティが目白押し！オープンから約半年、関西、中京など県外からも多くの方が訪れ、注目を集めています。

2016年春、池田町にオープンした日本最大級の冒険の森。

日本最大級のメガジップライン

福井県池田町は町の90%以上を森林が占め、山間の田んぼの間に水が流れる穏やかでどこか懐かしい町です。「Tree Picnic Adventure IKEDA」(以下TPA)は、そんな池田町に誕生した町営のテーマパークです。子どもから大人まですべての世代の好奇心を刺激し、山と出会い、木に学び、森とのふれあいを楽しめるアトラクションが充実しています。



一番人気の「メガジップライン」は、標高339m山の尾根を越えてワイヤーケーブルで森の上を滑走する巨大スケールのジップラインです。地上高は最大60m、滑走距離は全長約1kmと、距離も高さも日本最大級！まるで鳥になった気分で眼下に広がる森を上空から眺めることができます。雄大な森の風景は圧巻です。



森のジャングルジム、ラフティングも

「アドベンチャーパーク」は、樹上3m～12mに設けられた森のジャングルジム。スリル満点の「ディスカバリーコース」や、子どもだけでチャレンジできる「キッズコース」、100年杉のハンモックでのんびり過ごせるピクニックコース、クライミングで木に登り、大きな樹間をスウィングする「ツリークライムコース」など4つの多彩なプログラムを楽しめます。

ファミリーに人気なのが、足羽川の源流を下る「アドベンチャーボート」。全長2.1kmのミニラフティングコースを楽しめます。浅瀬なので、身長100cm以上であればどなたでもOK。親子で参加できます。



カフェ、BBQ、コテージも充実

施設のセンターハウス内にある「Cafe Picnic!」では、池田町産のお米を使ったおにぎりや池田牛バーガーを販売。地元色豊かなフードメニューを楽しめます。

また、敷地内には最大120名が利用できる屋根付きのバーベキュー施設も用意されています。



す。鉄板や炭の貸し出し、食材セット(要予約)もあり、手ぶらでもOKです。

宿泊できるコテージは、ユニットバスやミニキッチン完備しており、リゾート気分が森の中での時間を満喫することができます。

エコへの取り組み

池田町では無農薬の有機野菜栽培に力を入れており、町内の生ゴミを回収し、堆肥として活用しています。TPAでも利用客に協力をお願いし、コテージやバーベキューハウスで出る生ゴミの回収をサポートしています。

また、今年9月24日には「いけだエコキャンドル」にも参加しました。これは池田町が数年前から取り組んでいるイベントで、家庭などで不要になった天ぷら油から廃油ろうそくをつくり、一斉に点火するというもの。TPAをはじめ、街全体がキャンドルの幻想的な光に包まれました。

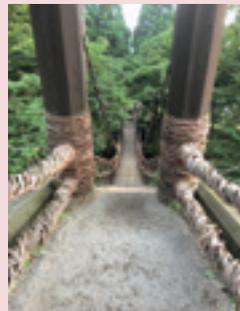
モンベルと提携

池田町はアウトドアブランドのモンベルとも提携しています。モンベルは、全国のアウトドアが楽しめる地域をフレンドエリアとして登録。池田町は福井県内第一号エリアで、TPAではモンベル会員に対し、コテージご宿泊の会員様には10%割引サービスを実施しています。



周辺施設との連携も

TPAの周辺には、足羽川渓谷にかかるかずら橋や溪流温泉「冠荘」、溪流釣りが楽しめる「天池の宿」などの観光スポットが点在しています。池田町では、いけだ農村観光協会が中心となり、これらの観光スポットのコースプランを提案。施設同士が連携し、割引などサービスの充実も図っています。



なお、6年後には池田町と岐阜県徳山ダムを結ぶ冠山トンネルが開通予定。TPAはキースポットとして、今後ますます注目を集めそうです。

細部までしっかり点検

オペレーションマネージャーの野村俊治さんは「北陸電気保安協会さんは、毎月点検に来てくださって助かっています。不特定多数の人が利用する施設なので、細かいところまでしっかり点検してくださる協会さんの保安管理は、施設運営の面でも安心です」と笑顔で話してくださいました。

北陸電気保安協会では、ツリーピクニックアドベンチャーいけだの電気設備・機器の点検業務を通じ、豊かな森林自然にふれあい、アスレチックを安心・快適に楽しめるよう、お手伝いさせていただきます。



Tree Picnic Adventure IKEDA

〒910-2523 福井県今立郡池田町志津原28-16
TEL / 0778-44-7474
<http://www.picnic.ikeda-kibou.com/>
営業時間 / 10:00 ~ 17:00 定休日 / 毎週火曜日
入場無料
※各アクティビティの利用は有料
※事前予約優先制
※冬季(12月~3月)の営業は調整中



平成28年度 電気保安功労者表彰

業務部

去る8月9日（火）富山電気ビルにおいて、平成28年度電気保安功労者表彰式が行われ、当協会推薦のお客さまが栄えある中部近畿産業保安監督部長表彰、電気安全北陸委員会委員長表彰を受賞されました。誠におめでとうございます。心からお慶びを申し上げます。



平成28年度 電気保安功労者表彰式

[受賞者]

中部近畿産業保安監督部長表彰

日本ダム株式会社 製織工場 様

- ・住所：福井県福井市清水杉谷町45-300
- ・電気保安担当事業所：福井支店



電気安全北陸委員会委員長表彰

真名川株式会社 様

- ・住所：福井県大野市吉28字下河原2番
- ・電気保安担当事業所：奥越営業所



(参考)

電気保安功労者の表彰制度は、「国民安全の日(7月1日)」の創設(昭和35年閣議決定)に伴い制度化されたもので、北陸においては昭和39年から実施され電気安全に功労のあった者を他の模範として讃え、電気保安体制の一助とすることを目的に、広く保安意識の高揚を図り永年にわたり電気保安に顕著な功績をあげた電気保安功労優良工場に対して、表彰が授与されます。

バッテリーから悲鳴が…？

金沢営業所 蔵川 和彦

ある日、お客さまより「非常用発電設備から警報が出ている、心配なのでみてほしい」との連絡が入り、すぐさま現場に向かいました。現場到着後、お客さまより状況をお聞きし、警報がでている非常用発電設備を確認したところ「蓄電池液面低下」という内容でした。

早速、起動用鉛蓄電池（バッテリー）の外観点検を実施し、低下している蒸留水を補充しようとしたのですが、各バッテリーの液面表示は上限ラインまで入っており問題ありません。そこで、センサーの不良を疑いフロート式のセンサーを取り外し、点検しましたが異常はありません。液量やセンサーも異常はなく、再度、センサーをもどすと、再び警報発報。はてさて困ってしまいました。

そこで、気を取り直し、再度、細かな部分の外観点検を実施すると、内部電極が膨張し、上部密閉箇所が盛り上がっているのに気がつきました。「これだ」と確信。原因は、内部電極が膨張し上部密閉蓋が持ち上げられたことから、センサー位置がずれて警報を発したのでした。内部電極の膨張による外観不良は、経年劣化したバッテリーにみられる状況です。あわせて、触媒栓（バッテリー内部の化学反応で発生する気体を液体に戻すもの）の有効期限も過ぎていることから、このままの状態で放置しておくともバッテリー液は減ってしまい、さらに重大な不良が発生することとなります。

念のため、これだけ劣化したバッテリーで、発電機のエンジンを起動させることが出来るか確認したところ、なんとか起動したものの、非常時、起動する保障はありません。特に、気温が下がる冬場にはバッテリーの性能が低下するため、突然の停電時に発電機が動かず、長時間停電する恐れもあります。病院、生物育成の業種のお客さまでは危機的状況となります。

お客さまに状況を説明すると、「前々から保安協会の検査員から報告書で改修依頼されていた。非常時に使えないと困ることから至急改修する」と、再度、重要性を認識していただきました。後日、懸念された冬を迎えるまでに、バッテリー等を更新していただけたことを担当から聞き、故障対応した者として胸をなでおろしました。

非常用発電設備は、非常時に必ず起動しなければならない大切なものです。バッテリーや触媒栓は、経年にて性能が急激に低下する機器のため更新推奨時期があります。当協会では大切なお客さまの設備を点検し、日頃のメンテナンスも含めご提案させていただいています。設備改修にご協力いただきますようお願いいたします。



【参考】正常なバッテリー

お詫びと訂正

でんきほあん2016陽春号のP11の表におきまして一部誤りがありました。正しくは以下の通りです。

(誤)

	保安規程届出	保安規程変更届出
事業場の名称を変更	●	
事業場の所在地を変更	●	
構内図、組織図を変更	●	



(正)

	保安規程届出	保安規程変更届出
事業場の名称を変更		●
事業場の所在地を変更		●
構内図、組織図を変更		●

皆さまならびに関係各位にご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

災害時の電気の安全対策

いつ起こるかわからない地震や台風などの災害に備えて、日頃から次のことを心がけておきましょう。



避難するときは、ブレーカーを切る！

家の外へ避難するときには、分電盤のブレーカーを必ず「切」にしてください。再び「入」にする前に、電気器具の故障、浸水がないか確認してください。

ブレーカーの位置を確認しておきましょう。分電盤の付近には物を置かないようにしましょう。



切れた電線は、絶対にさわらない！

切れて垂れ下がった電線には、絶対にさわらないでください。感電する恐れがあります。切れた電線や、電線が樹木や看板、アンテナなどに触れているのを見つけたときは、お近くの電力会社にご連絡ください。



水に濡れた電気器具は、必ず点検を！

水に濡れた電気器具や配線類は、漏電や火災の原因となります。使用前に、必ず電気店などで点検してください。安全が確認されてから使用しましょう。

電気器具に水がかかると漏電や火災の原因にもなります。水槽や花瓶などの置き場所には注意しましょう。



電気製品の消火は、「消火器」で！

万一、電気製品が燃えた場合は、まずコンセントから電源プラグを抜き、消火器で消してください。通電したまま水をかけると、感電の恐れがあります。

消火器には、電気製品の消火に適しているかどうかの表示があるので確認してください。



常備しておきたい電気器具

「非常持ち出し袋」や取り出しやすい所に、常備しておきましょう。時々、他の常備品とあわせて動作確認を行いましょう。

手回し充電機能がついていると便利



携帯ラジオ



懐中電灯



予備の乾電池

電気を安全にムダなく使いましょう



一般財団法人

北陸電気保安協会

<http://www.hokuriku-dhk.or.jp/>

2016 錦秋号

平成 28 年 10 月 1 日発行
通巻 270 号

北陸電気保安協会

検索

本店 富山市桜橋通り 3 番 1 号
富山支店 富山市新庄本町二丁目 9 番 98 号
石川支店 白山市五歩市町 400 番地
福井支店 福井市松本 1 丁目 1 番 22 号

TEL 076-441-6350 (発行所)
TEL 076-452-0515
TEL 076-274-4580
TEL 0776-24-5626



●本誌は、再生紙を使用しています。